

交通事故に関するアンケートの集計結果について

(2014年度集計)

2015年11月10日
建設廃棄物協同組合
収集運搬委員会

収集運搬委員会では交通事故に関するアンケート調査を2015年7月に実施しました。
(調査期間2014年4月1日～2015年3月31日)

その結果は次のとおりです。収集運搬委員会ではこの調査を毎年実施し、各組合員で交通事故の削減を図るべく安全運転に努めてください。

1. 車両種類

今年度の交通事故の総数は80件発生しました。(昨年は54件)

車両種類別ではダンプ車の31件が最も多く次いでコンテナ車の28件となります。

2. 年齢別

年齢別では40代の30件が最も多く、次いで30代の25件の順となっており、中年層に事故が多いのが特徴的でした。

3. 経験年数

経験年数では各車両5年以下の経験者が最も多く全体の54%を占めており次いで経験年数が10年以下と若年経験での事故が多く散見されるのが特徴的となっております。

4. 事故の種類

事故の種類では追突事故(逆突も含む)の43件が最も多く、次いで接触事故の34件となり全体の96%を占めます。

5. 事故の形態

事故の形態では物損事故が64件と最も多く次に人身+物損の15件でした。

6. 総評

本調査を昨年も実施しましたが傾向性に変化が見られませんでした。

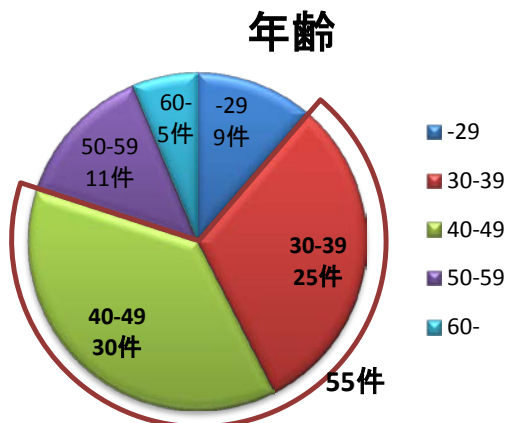
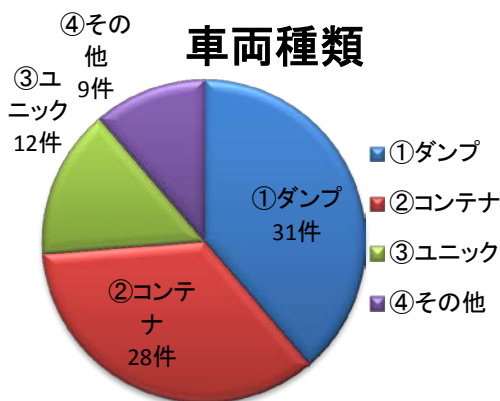
年齢別では30代、40代、経験年数では5年以下の事故が圧倒的に多いです。

これは自動車運転の経験はあるものの、中途採用等により中年層からトラックを乗り始める運転手に顕著に現れていますので、重点的に安全教育を実施してください。

また、事故原因として前方不注意、車間距離不足、脇見、安全確認不足の事故が多く、その他後退時の事故も総体的に多いので重点的に安全教育を実施してください。

昨年より交通事故は増加しております。重大事故こそ無かったものの小さな事故が積み重なり重大事故に発展する恐れがありますので各組合員では引き続き安全教育を徹底され事故削減に努めてください。

2014年度交通事故集計表 事故件数 80件



経験年数

